

平成 18 年度生理学研究所研究会

「細胞シグナリングの時空間統御機構解明への方略探索」

日 時：平成 17 年 10 月 5 日（木） - 10 月 6 日（金）

場 所：自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

提案代表者：曾我部 正博（名古屋大学 大学院医学系研究科）

所内対応者：久保 義弘（神経機能素子研究部門）

（発表 20 分、討論 10 分）

10月5日（木）

0:30-0:40 挨拶

Session（座長：宮崎俊一）

0:40- 1:10 貪食細胞における活性化型 NADPH oxidase 複合体形成機構の可視化

— p40phox のアダプター蛋白としての機能獲得メカニズムの解明 —

上山健彦、辰野敏彦、川崎石実、住本英樹、Thomas L. Leto、齋藤尚亮

（神戸大学バイオシグナル研究センター）

1:10- 1:40 腎マクラデンザ細胞のシグナル機構

福田英一、川田英明、安岡有紀子、秋塚野少、広瀬茂久*、河原克雅（北里大学医学部）

1:40- 2:10 STIM1 を介するカルシウムシグナル制御

馬場義裕、黒崎博（理化学研究所免疫アレルギーセンター）

2:10- 2:20 コーヒーブレイク

Session（座長：廣瀬謙造）

2:20- 2:50 PLC- ζ の構造・機能関連と生物学的意義

伊藤昌彦、淡路健雄、宮崎俊一（東京女子医科大学医学部）

2:50- 3:20 樹状突起スパインの動態と統計

河西 春郎、安松 信明、松崎 政紀、宮崎崇史（東京大学大学院医学系研究科）

3:20- 3:50 シナプス小胞エンドサイトーシスにおける Ca^{2+} チャンネル synprint site の役割

渡邊博康、山下貴之、斉藤直人、岩松明彦、森泰生、高橋智幸（東京大学大学院医学系研究科）

3:50- 4:00 コーヒーブレイク

Session（座長：高橋智幸）

4:00- 4:30 小脳におけるR型Ca²⁺チャンネルの生理機能

田邊勉、小山内実、三枝弘尚、数野安亜、永山晋、胡秋平、Zong Shuqin、村越隆之
(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)

4:30- 5:00 膜アンカー型神経特異的 CaM キナーゼ、CLICK-III/CaMKII γ による樹状突起伸展制御

尾藤清彦、竹本木村さやか、石原奈津実(東京大学大学院医学系研究科)

5:00-5:30 海馬シナプスにおける内因性カンナビノイドの産生と分解・除去機構

橋本谷祐輝、狩野方伸(大阪大学大学院医学系研究科)

5:30- 6:00 神経突起伸長におけるアストロサイト自発的カルシウムシグナルの役割

金丸和典、大久保洋平、廣橋兼造、飯野正光(東京大学大学院医学系研究科)

6:30- 懇親会(於職員会館 2階)

10月6日(金)

Session (座長: 最上秀夫)

8:45- 9:15 NOによるニトロシル化を介したTRPチャンネル活性化とそのシグナル統合における意義

森泰生、高橋重成、山本紳一郎、吉田卓史(京都大学工学部研究科)

9:15- 9:45 TRPV2チャンネルの細胞内局在と制御

長瀬徹谷、中川祐子、小島至(群馬大学生体調節研究所)

9:45-10:15 Lactic acidosisにおけるプロトンチャンネルの2相性応答機構

久野みゆき、森畑宏一、川脚順子、翁昌子、酒井啓(大阪市立大学大学院医学系研究科)

10:15-10:45 HERGチャンネルのタンデム2量体による薬物結合様式の解明

老木成彦、明貝俊彦、柳承希、清水啓史(福井大学医学部)

10:45-10:55 コーヒーブレイク

Session (座長: 河原克雅)

10:55-11:25 G蛋白質制御内向整流性カリウムチャンネルKir3.2の細胞質領域の立体構造

榊野 厚、倉智 嘉久(大阪大学大学院医学系研究科)

11:25-11:55 グルタミン酸の可視化解析

廣橋兼造、並木繁行、坂本寛和、飯沼将(名古屋大学大学院医学系研究科)

11:55-12:25 核構造とシナプス局所的翻訳の分子イメージング解析

徳永万喜羊、椎名伸之、廣島通夫、十川久美子(遺伝研)

12:25-12:55 血管内血小板凝集と凝固能のリアルタイムモニターリング

最上秀夫、林 忠毅、村上玄介、浦野哲盟(浜松医科大学)